



連絡会ニュース・喜慶

2019年 12月 6日発行
第 6 号
協同組合東京都水道請負工事連絡会
〒103-0015 東京都中央区日本橋
箱崎町5番4号アライズ第2ビル3階
TEL 03-6264-9867
FAX 03-6264-9869
編集責任者 北澤 賢次
http://www.renrakukai.org

官公需適格組合とは？

官公需適格組合制度は、官公需の受注に対して特に意欲的であり、かつ受注した契約は、十分に責任を持って履行できる経営基盤が整備されている組合であることを中小企業庁（経済産業局及び沖縄総合事務局）が証明する制度です。この証明を受けている組合は、中小企業者が組合員である事業協同組合、企業組合、協業組合等で、以下の基準を満たしている組合です。

物品・役務関係の証明基準の概要

1. 共同事業の協調性・円滑性

証明基準：組合の共同事業に関し、組合員の協調裡に円滑に行われていること。
調査事項：共同事業の遂行の状況 (a. 登記簿謄本 b. 定款 c. 組合員名簿 d. 経歴書 e. 脱退組合員名と脱退の理由 f. 事業計画 g. 総会及び理事会の議事録)

2. 官公需の受注に関する熱心度

証明基準：官公需の受注に関し、熱心な指導者がいること。（組合指導者の組合事業に関連する経歴書）

3. 共同受注体制

証明基準：①事務局常勤役員が1名以上。②共同受注担当役員 ③共同受注委員会の設置 ④官公需共同受注規約 (i. 物品等の種類及び規模 ii. 配分基準 iii. 連帯責任等) ⑤共同受注委員会の運営、組合運営、検査体制の確立、その他

4. 経理的基礎

証明基準：①組合の経常的収入 ②その他経理的に問題がないこと (a. 決算関係書類 b. 収支予算書)

5. その他

東京都中小企業団体中央会ホームページより抜粋

官公需適格組合取得へ

第7期 緊急理事会議を開催

官公需適格組合取得への活動を承認

協同組合東京都水道請負工事連絡会は、令和元年11月1日（金）15時から第7期 緊急理事会を東京都中央区日本橋箱崎町5-4 組合事務所で開催した。

今回の緊急理事会の開催は、官公需適格組合の資格取得に関する議案について、理事長が招集し開催した。なお、議案の性質上、理事会は全員出席を原則としたが、理事の2名は、委任状での参加となった。

以下は、議事録の要旨である。

【出席者】〈代表理事〉貝澤二郎 〈副理事長〉岩澤芳光、高橋昌也（兼技術委員長）〈技術〉中島新吾、大藤弘之、尾畑浩一郎、黒田太一、内海政征（委任状）〈総務厚生〉石田強（委員長）、三浦良一、中川英樹、玉木正、杉本光信、久保勉（委任状）

今回は、臨時理事会を開催する前に執行部を準備した。

執行部会審

1. 給水装置工事主任技術者について
水道局の組合員では、給水装置工事主任技術者への受講人数、費用、会場など

関心が高まっていることから、その研修を連絡会として企画したい。
・給水工事技術振興財団と研修会を共催できるか、交渉する。
・一回当たりの研修会最小受講人数、費用、会場など

を調査する。
・組合員には、給水装置工事主任技術者資格取得数や研修について調査を行う。
水道局に対しては、自主的に毎年、社員へ、かわるがわる受けさせていこうと言えは、印象が良くなる。

以て意見を説明し、了承された。

引き続き第7期 緊急理事会を開催し、官公需適格組合取得への活動を承認された。

目録理事長から官公需適格組合の議案について、次のように説明があった。

今回、組合の安定的運営のため、業務拡大策として、官公需適格組合の資格取得したいと考えています。資格には、物品・役務と事務があり、ゆくゆくは両方取りたいと思っておりますが、まずは物品・役務から考えています。この資格を取得することにより、組合として受注が可能となります。理事全員の参加をいただき、その内容がわかった上で賛同を得てスタートさせたいと思っています。高橋副理事長より、補足

説明があった。
現在組合には入札参加資格の建設許可を取得していません。リンクを付けているのは、何かしら工事を受注して検査を受けて売上が計上することが必要となりますが、それ以前に組合員全員の賛同がなければなりません。それを揃えるのは不可能に近いと思っております。したがって、現在所有の建設業を破産し、実績等の必要のない物品・役務で資格取得するのが望ましいと思います。この物品・役務の資格はメーカーも範囲に入るし、構成する組合員が幅広く施工できることだと思います。ただし、建設業を破産すると浄水場関連等の大企業はできないので、可能性を残すのであれば持つておく必要がありそうです。

組合員の参加不参加で問題になるのではの懸念もありませんが、受注者が組合に数%のフィーを払うことで解消されるのではないかと考えています。また、問題というよりも、役務の内容によって、組合員が施工可能かどうかという話もあります。最終的には、できる組合員が先導していかざるを得ないと思っております。また、事故等が起きた場合には、理事全員の責任問題や、訴訟が起きた場合にについても、考えておく必要があります。ただし、個人で所有・所属している会社には影響は少ないと思っております。理事は訴訟に対する保険を掛けておくことが望ましいと考えています。

今回、いろいろな意見やお考えが出ていますが、この先を前向きに進むのであれば、適格組合取得したい方が良く考えていると思います。

以上の提案理由の説明に対して、いろいろな意見が出され議論された。
高橋副理事長は破産してしまつたのは、少しもったいないと思っております。
高橋副理事長は、建設業を破産してしまつたのは、少しもったいないと思っております。
高橋副理事長は、建設業を破産してしまつたのは、少しもったいないと思っております。

この決議後、目録理事長より、全会一致であったため、全会一致で、適格組合については現技術委員長が受注委員会業務を進めたいと技術委員会に依頼した。
この依頼に対して、高橋副理事長より、適格組合を進めるにあたり、その他の細かな事柄については執行部一任を、承認してほしいとの動議が出された。
この動議を受けて、理事全員の賛同を得た。
この決議後、目録理事長より、全会一致であったため、全会一致で、適格組合については現技術委員長が受注委員会業務を進めたいと技術委員会に依頼した。
この依頼に対して、高橋副理事長より、適格組合を進めるにあたり、その他の細かな事柄については執行部一任を、承認してほしいとの動議が出された。
この動議を受けて、理事全員の賛同を得た。

TSR（協同組合東京都水道請負工事連絡会）では、組合員を募集しています。

連絡先 TEL 03-6264-9867
FAX 03-6264-9869

あんしん財団は 事業経営を幅広くサポートします！
会費は 月々2,000円 (うち保険料1,700円) お一人様
事業総合傷害保険
お仕事中のケガはもちろんだ日常生活のケガも補償
ケガによる死亡時 2,000万円 (満80歳以上の方は1,000万円) *疾病(病気)は補償の対象になりません
お客様のサービス事業
職場の安全・安心を支える補助金制度
安全衛生設備等の設置(購入)費用の一部を補助
人間ドックや定期健康診断の受診費用の一部を補助

※この広告は制度の概要を説明したものです。※介護保険法の要介護認定を受けている方や、経営や就業の実態がない方等はご加入いただけません。※お客様サービス事業は加入者サービス規約に定められた方がご利用になれます。※近畿・中国・四国地方および沖縄県に所在地がある事業所は、原則、新規のご加入はいただけません。
あんしん財団 紹介業務所 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-4 アライズ第2ビル3階
協同組合東京都水道請負工事連絡会 TEL 03-6264-9867 / FAX 03-6264-9869
※当連絡会は、あんしん財団の保険募集を行う保険代理店ではなく、紹介業務を行う紹介業務所です。制度内容についてのご説明とご加入手続きは、あんしん財団の職員が行います。制度内容の説明を受けた方はあんしん財団をご紹介しますので、当連絡会までご連絡ください。※ご提供いただいた個人情報は、あんしん財団への加入見込先の紹介のみに利用させていただきます。また、当連絡会が責任をもって管理します。
2018-0039-AD-229

第7期 第3回 協同組合東京都水道請負工事連絡会理事会報告

第7期 第3回 協同組合東京都水道請負工事連絡会 理事会は、9月6日(金)15時から、東京都中央区日本橋橋町5-4 組合事務所で開催した。以下は、議事録の要旨である。

【出席】 代表理事 目澤 郎、副理事長 岩澤 光、高橋 也(兼技術委員長) 技術 尾畑 浩一郎、総務 石田 強(委員長)、三浦 良一、中川 英樹、杉本 光信、久保 勉

今回は、理事会を開催する前に執行部会を開催した。執行部会
1. キット空缶区工事の進捗について
探算ベースの12月1日現在の、手を上げる事業費がなかなか出ていない。検測と同時に履行など様々のやりとりもやりやすさ、採算も見合うように努むと思う、との意見が出た。

目澤理事長・三浦理事から、中央支所小中口役メータ事業(退会した者以外)への声かけを実施する。水道局とのやりとりの退職予定者について、発注者の退職予定者について、事務局は、養分及び周辺のリサーチをする。

理事会報告
1. 工種別工事高について
(1)メータ事業高が前年度比50%である。

今年度は昨年の8割程度の発注量と思われる。また、組合のメータ業者も減っているのが懸念している。
(2)その他の懸念等は、例年並みである。年度初めの出遅れがあるが例年並みに推移すると思われる。

2. 官公需連携組合について
(1)官公需連携組合への

申請については、組合員の利益不利益が出るので、理事の総意を進める必要がある。また、中央会の整理事項であり、委任状は認められなく、賛成反対数を呼び出す必要がある。よって、緊急理事会(重要事項議案)官公需連携組合についてを審議し、理事全員の出席を求め、日時を調整する。

3. 今後の理事会運営について
(1)現在、理事会は毎月開催しており、整理事項議案の発案、審議、承認等を行っているが、今後理事会では基本承認事項として、各委員会で議案の発案、審議を行う。
(2)開催については、理事会、委員会とも、2か月毎とし、開催場所は、組合事務所とする。
(3)各委員会は、今まで以上に機能を向上しなればならない。事務局との積極的なコミュニケーションが必要となる。そのため、一般組合員からも広く参加してもらえよう。

4. その他
(1)災害時の応援派遣に係る協力承諾書について
組合員に周知・配布し、功労表彰を授賞

申請したものを取り直し局にまで戻す。
(2)組合員名簿について
9/1組合員・協賛社に配布済み。その他、水道局等関係機関へは随時持ち込む。
(3)東京支所報告
出席者: 目澤理事長、岩澤副理事長、事務局。目澤理事長が最初に紹介された。
(4)支所会について
①8/29東支所で支所会を開催した。業界の今後について危機感を共有し、来年の役員改選について積極的な参加をお願いした。
②9/17南支所会開催予定
③北・中・西支所合同で開催予定
④8/30 都議会議員党 オリパム説明会 事務局出席

主たる定期制の取り組みについての説明(資料あり)であった。膨大な資料を抜粋し、組合ホームページに掲載する。今回の説明は、連携和があり、今後第2・第3と続き、工事調整等の内容に入っていくと考えられる。水道局から発注時期を調整するのは明確である。あと、警備員がイベントに取られ不足し手配つけないことが考えられる。
(6)10/1 三浦理事 功労表彰授賞

第7期 第1回 協同組合東京都水道請負工事連絡会総務厚生委員会報告

第7期 第1回 協同組合東京都水道請負工事連絡会 総務厚生委員会は、9月20日(金)16時から、東京都中央区日本橋橋町5-4 組合事務所で開催した。以下は、議事録の要旨である。

【出席】 代表理事 目澤 郎、総務 石田 強(委員長)、三浦 良一、中川 英樹、杉本 光信

1. 下期年間行事について
(1)理事会の運営方針について
目澤理事長より、今後の理事会の運営方針について次のような話があった。理事会は承認事項を主体とし、それぞれの委員会は、課題の抽出、討議、ある程度まとめたものを、理事会に提出する方式とする。理事会は、それぞれの課題に対する承認もしくは再検討させる方式とした。

2. 冬研修会について
現在、研修会場と懇親会場を仮押さえている。研修会後の懇親会について、議論があったが、この件については、理事会の審議事項とした。

3. 令和2年賞状授与について
(1)開催日は、1月16日に決定する。
(2)司会やテーブル、着席メニュー等、昨年と同様を考える。食事内容数は参加者数より検討する。
(3)会費については、前回と同様とする。
(4)開催する時間については、前回と同様とする。
(5)案内リストについて
①案内リストについては、前回は、前回と同様とするが、政院関係等については、理事会の審議事項とする。
②案内リスト・招待状の文面・次第(案)・収支の資料を作成し、次回の理事会(11/8)で承認を図りたい。

4. 組合新聞について
(1)組合新聞の編集長から現状の新聞発行を説明した。その内容は、次の項目であった。
①担当理事の件
②記事内容について
③記事の方向性について
④委員会活動範囲について
⑤アンケート調査について
⑥ホームページと新聞の重複について
⑦組合員との相互関係について

5. 賞状授与について
(1)水道局・TSSの意見交換会は、未定であるが、11月あたりで調整する。
(2)組合員からの意見は、年間を通じて募集する。定期に呼びかけ(メール・FAX・新聞)を行う。
(3)担当理事は、三浦理事とする。意見書を集約する。

6. その他
(1)管理技術者の講習開催について
管理技術者の講習開催について、案内等、組合員に情報発信する。来年度講習人数がまじまじである場合は、組合員で講習会を検討する。
(2)保険事故申請について

2. フォルコンについて
受賞者を代表し登壇・表彰されることになっている。
(7)10/10 連絡会ゴルフコンペについて
今日現在参加者19名、32名の枠があるので引き続き声かけを願う。
参加費5千円。プレー費2万円。
(8)次回賞状授与について
日程 令和2年1月16日

(3)年度当初から、その年度を見通した課題内容や記事を検討する。
(4)日々情報や興味があると思われる記事等を思い付いたら、事務局に連絡する。
(5)紙面刺入をあらかじめ決めておく。それに沿った紙面づくりをする。
(6)出来上がり紙面は、現在ホームページに掲載しているが、新聞紙として、購読料(送料分程度 100円)を年間費定で送っていただくか。

(1)組合新聞の編集長から現状の新聞発行を説明した。その内容は、次の項目であった。
①担当理事の件
②記事内容について
③記事の方向性について
④委員会活動範囲について
⑤アンケート調査について
⑥ホームページと新聞の重複について
⑦組合員との相互関係について

(1)組合新聞の編集長から現状の新聞発行を説明した。その内容は、次の項目であった。
①担当理事の件
②記事内容について
③記事の方向性について
④委員会活動範囲について
⑤アンケート調査について
⑥ホームページと新聞の重複について
⑦組合員との相互関係について

(3) キット空缶区については、中央支所管内(2008〜2019)の残された予定分が問題となっている。
②施工メータ箇所を直接確認するために、水道局中央支所を訪問し、リスト化する。担当は、中川理事とする。ただし、事前に高橋副理事長が、TSS本社に連絡してから、理事長と中川理事がTSS中央支所に伺うようにする。なお、1・2か所であればキットが対応するとしている。
(4) 緊急理事会について
緊急理事会の開催については、各理事の日程調整が不調であり、再々度、全理事が出席できる日を探る。
(5) 外国人実務生 受け入れについて
組合員のニーズを知りたい。アンケートを実施する。
(6) 次回の理事会について
11月8日理事会開催を確認した。
(7) 総務厚生委員会の開催について
総務厚生委員会は、今後年末に向け都度開催するようとする。

③ 組合員には、しっかり案内が必要である。わかりやすくかみ砕いて案内する。
⑩ 消費税値上げ後の単価について
水道局からは印刷の予定がないとのことなので、組合からメータを手でできるか確認し、組合員に提供できるか努力する。

(1) 協賛各社には、消費税10%のかけの確保はしておこう。
② 水道局は、検査日ベース。検査員の押印がされた日局からは、支所の担当者と打ち合わせしてもらいたいとのこと。気を付けていないと確認の数字が変わってしまう。

水源からご家庭までの水道諸資材を販売・施工

〔営業品目〕 ダクタイル鉄管、バルブ、鋼管、ポリエチレンパイプ、ステンレスパイプ、上/下水道諸資材、配管工事請負

株式会社 栗本鐵工所特約販売店

ヤマトガワ株式会社

本社・本店 大阪市西区北堀江1丁目1番18号・四ツ橋イーストビル
TEL 大阪(06)6541-5153 FAX(06)6533-5997、5998

支店 関西(八尾市)、兵庫(神戸市)、南大阪(貝塚市)、京都(京都府久世郡)、三重(津市)、名古屋、関東(さいたま市)、東京(港区)、西東京(川崎市)、足立(足立区)、中国(広島市)、山口(防府市)、九州(福岡市)、宮崎、熊本

機関紙へのご意見を募集しています

TEL 03-6264-9867
FAX 03-6264-9869

ヤマトガワ YAMATOGAWA CO.,LTD. **クリモトグループ**

西東京支店 〒214-0012 川崎市多摩区中野島5丁目16番43号
TEL:(044)712-0366 FAX:(044)712-0588

足立営業所 〒121-0062 足立区南花畑4丁目27番12号
TEL:(03)5856-4030 FAX:(03)5242-5710

水道局と協会の協働関係の構築

東京都水道局と協同組合東京都水道請負工事連絡会が、単独各種の課題に対して前向きに意見を交換し、次年度以降の業務改善となるよう、意見交換会を開催した。意見交換会は、11月18日(月)9時30分から都庁第5本庁舎階で開催された。

開会式は、協同組合東京都水道請負工事連絡会 代表理事 目澤 郎の挨拶から始まり、次に、東京都水道局 給水部長 谷本知之氏の挨拶があり、実質の質疑応答が始まった。

以下は、質疑の要約である。

(敬称略)

開催日 令和元年11月18日
(月)9時30分
開催場所 都庁第5本庁舎2階

東京都水道局出席者
給水部長 谷本知之
給水部給水課 瀧水防正
当課長代理 石渡
給水部給水課 給水設備担当 大谷

協同組合東京都水道請負工事連絡会出席者
代表理事 目澤 郎
副理事長 岩澤 亮
副理事長兼技術委員長 高橋 昌也
理事 三浦 良一
理事 中川 英樹
理事 杉本 光信
中村 明子(コーシ建設)
森 敦彦(ザウ工業)
羽鳥 基義(羽鳥業)
鈴木 田夫(友徳)
植原 賢士(事務局)
細 啓一(事務局)

開会の挨拶
◆協同組合東京都水道請負工事連絡会 代表理事 目澤 郎
本日は、今年もこのようにお集まりいただきありがとうございます。今日はお集まりいただきありがとうございます。意見交換会を開催させていただきます。

【水道局】
他局管轄のため、この場では即答できませんが、管轄である進捗委員会には要望を伝えさせていただきます。

【連絡会】
先日の即席の場で増強してありますが、密度の高い議論をしていただきます。

【水道局】
先日の即席の場で増強してありますが、密度の高い議論をしていただきます。

【連絡会】
先日の即席の場で増強してありますが、密度の高い議論をしていただきます。



第40回ゴルフ大会の参加者の皆さん(カレドニアン・ゴルフクラブ)

TSR 第40回ゴルフ大会を開催

中久喜 誠氏(映進工業株)優勝

協同組合東京都水道請負工事連絡会(員澤 郎理事)長は、10月10日、千葉県山根郡「カレドニアン・ゴルフクラブ」で第40回ゴルフ大会を開催、映進工業の中久喜誠氏がネット71・6の好成績で優勝した。

当日は、組合員並びに協賛等30名が参加し、この秋一番のゴルフ日和に恵まれ、新ペリア方式による18ホールストロークプレーにて熱戦を展開した。

その結果、映進工業の中久喜誠氏がアウト43、イン43、グロス86、ハンデ14・4、ネット71・6の好成績で優勝した。準優勝は大連末の藤井正裕氏、第3位には新光工業の吉澤敏夫氏が入賞した。また、ベストグロス賞は、スリー・ケーの林健一氏がグロス76の好

スコアで獲得した。

プレー終了後に行われた表彰式では、員澤、岩澤芳光副理事長(不二工業)が「第40回の節目の大会に多数参加いただき感謝します。また、協賛社の皆さんには多大な贊助をして頂き重ねて感謝します」と謝意を表したあと「明日から天候が曇るといふ予報もあり、何事もないことを祈るばかりです。本日、天候に恵まれたのは、皆さんの日頃の行いが良かったからだと思います。組合員の親交を深め、さらなる事業の発展を目指して行きたい」と述べ、組合員に協力を求めた。

このあと、前回大会優勝の中島新吾理事(ユタカ工業)の乾杯の発声で懇親会と表彰式に入った。今回

は起伏にとんだ変化の多い難コースとして知られるが、参加者の半数以上がスコア100を切るハイレベル戦いを闘い、表彰式でも参加者のスコアが話題を呼んでいた。



中島新吾理事(ユタカ工業)の乾杯 懇親会状況



岩澤芳光副理事長(不二工業)による表彰式状況



向かって左から成輪さん、成田さん、黒沢さん、中久喜さん



向かって左から玉木さん、大沢さん、田中さん

第40回 東京都水道請負工事連絡会 ゴルフ大会

順位	氏名	会社名	OUT	IN	グロス	ハンデ	ネット
優勝	中久喜 誠	映進工業株	43	43	86	14.4	71.6
準優勝	藤井 正裕	(株)大達土木	48	52	100	27.6	72.4
3位	吉澤 敏夫	(株)新光工業	46	47	93	20.4	72.6
4位	井沼 達治	(株)キッツ	46	43	89	15.6	73.4
5位	大藤 弘之	(株)大藤工業所	44	46	90	15.6	74.4
6位	黒田 太一	(株)新光工業	42	47	89	14.4	74.6
7位	林 健一	(株)スリー・ケー	38	38	76	1.2	74.8
8位	武井 政勲	(株)大起工管	51	48	99	24.0	75.0
9位	黒澤 秀雄	大肯精密(株)	48	49	97	21.6	75.4
10位	伊藤 久夫	ヤマトガワ(株)	53	42	95	19.2	75.8
11位	大澤 充	東京管工機材(株)	50	49	99	22.8	76.2
12位	中島 新吾	(株)ユタカ工業	48	50	98	21.6	76.4
13位	小坂 学	(株)ソフィアブレイン	50	46	96	19.2	76.8
14位	玉木 博	(株)大千代工業	46	48	94	16.8	77.2
15位	田中 章	(株)大千代工業	44	48	92	14.4	77.6
16位	成田 通	(株)成田工業	48	54	102	24.0	78.0
17位	島村 英和	ヤマトガワ(株)	51	62	113	34.8	78.2
18位	佐藤 義弘	(株)丸和建設工業	53	51	104	25.2	78.8
19位	油座 純男	(有)ユザラインサービス	45	40	85	6.0	79.0
20位	杉本 光信	(株)杉本建設	49	52	101	21.6	79.4
21位	成輪 健	大成機工(株)	50	48	98	18.0	80.0
22位	岩澤 芳光	不二工業(株)	53	59	112	31.2	80.8
23位	星 勝行	(株)星工業所	57	60	117	36.0	81.0
24位	町田 真由美	(株)丸和建設工業	57	59	116	33.6	82.4
25位	齋藤 國晴	(株)国建工業	58	50	108	25.2	82.8
26位	今井 広海	今井設備管工(株)	57	60	117	33.6	83.4
27位	斉藤 一良	(株)カワハラ	58	64	122	36.0	86.0
28位	小口 健一	(株)杉本建設	56	64	120	33.6	86.4
29位	黒岩 光太郎	あいおいニッセイ同和損保(株)	62	57	119	32.4	86.6
30位	奥野 有紀	あかね協同組合	59	64	123	36.0	87.0



富士機材株式会社



建築設備資材、住宅設備資材、上下水道・環境資材の専門商社として、
 商社機能の枠を超えて富士機材は快適な住環境づくりをトータルサポートします。
それが富士機材株式会社の強みです。



〒102-8373 東京都千代田区一番町12
 代表 TEL.(03)3556-4500 FAX.(03)3556-4501
 土木インフラ営業部 TEL.(03)3556-4562 FAX.(03)3556-4564